

萩藩主の養子

副館長 吉田真夫

はじめに

- ✓ 江戸時代の大名家の継承→実子だけでの継承事例は少ない→「養子」は不可欠
- ✓ 養子→①男系の血脈 ②女系の血脈 ③他人

萩藩5代藩主毛利吉元の事例

§1 5代藩主毛利吉元の誕生

毛利吉元(延宝5年<1677>8月24日～享保16年<1731>9月13日)
長府藩3代藩主毛利綱元の子。母は岡山藩3代藩主池田光政の女
元禄4年(1691)、右京大夫元倚と名乗る
宝永3年(1706)、5代将軍徳川綱吉より一字を賜わり「吉元」と改名
宝永4年、萩藩4代藩主毛利吉広の養子となる

- ✓ 宝永4年7月以降、毛利吉広の病状悪化
→長府藩の跡継ぎである毛利吉元を養子に迎える動き
- ✓ 毛利吉元が候補になった理由：仮養子願いに名が挙がってきた経緯
- ✓ 「急養子」の願書を幕府に提出(10月4日)
←萩藩毛利家親族への説明と了承とりつけを経て
←吉元の父綱元(在長府)への報知：10月5日使者発足
- ✓ 10月13日、毛利吉広卒(35歳)
- ✓ 11月23日、吉元への家督相続承認：「松平民部大輔吉元」

§2 若殿様宗元の誕生

- ✓ 吉元による萩藩主毛利家の継承→跡継ぎは三男「左門」
※長男である又四郎(元朝)は長府に残し、父綱元の後継者に
- ✓ 正徳3年(1713)7月14日、左門卒(8歳)→吉元の後継者不在
※又四郎は祖父綱元の跡を継ぎ、長府藩主(宝永6年<1709>～)
- ✓ 又四郎元朝を吉元の跡継ぎに→「取返シ」
※長府藩は吉元の弟那波仁八郎を藩主に(後の毛利元矩)
- ✓ 9月29日、又四郎「取返シ」の願書を幕府に提出
→10月23日許可、又四郎「若殿様」へ(24日に又四郎を元太郎に改める)
- ✓ 享保2年(1717)12月15日元服
→8代将軍徳川吉宗から一字を賜り、宗元と名乗る
- ✓ 享保6年4月19日卒(19歳)

おわりに

【萩藩毛利家略系図】

